

WinCT-AD1687

Ver. 1.00

AD1687 簡易グラフ化ツール（日本語版）

Copyright (c) 2012 A&D Company limited

取扱説明書

目次

1. 概要
2. 使用許諾契約
3. 準備するもの
4. 通信準備
5. グラフ化の手順
6. グラフの説明
7. 保存
8. メインメニューの表示方法

1. 概要

本ソフトウェア「WinCT-AD1687」は、エー・アンド・デイ製計量環境ロガーAD-1687 [以下 AD-1687 と省略] でロギングしたデータを Excel のマクロ・プログラムにて自動的にグラフ化するものです。

注意

- ・「WinCT-AD1687」の使用の前に、万が一に備えてコンピュータの重要なデータをバックアップしておいてください。
- ・コンピュータや「WinCT-AD1687」以外のソフトウェアについては各メーカーにお問い合わせください。

2. 使用許諾契約

- ・「WinCT-AD1687」を弊社に無断で複製することは禁じます。
- ・「WinCT-AD1687」は予告なく使用を変更することがあります。
- ・「WinCT-AD1687」の著作権は、(株) エー・アンド・デイに有ります。
- ・「WinCT-AD1687」は AD-1687 のデータをグラフ化するのに使用します。
- ・「WinCT-AD1687」はグラフ化するコンピュータのハードディスク、またはその他記憶装置に限りインストールして使用できます。
- ・(株) エー・アンド・デイは「WinCT-AD1687」またはこの「Readme」の欠陥により発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があるとは告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

Microsoft、Windows、Excel は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

2012年4月6日

(株) エー・アンド・デイ

3. 準備するもの

3.1 AD-1687

付属のパソコン接続用 USB ケーブル mini-B タイプを用意してください。

3.2 コンピュータ

Microsoft Excel 2000/2002/2003/2007/2010 のいずれかが問題なく動作するコンピュータ
上記 Excel は別途用意してください。

4. 通信準備

手順 1 AD-1687 に付属されているパソコン接続用 USB ケーブルでコンピュータと AD1687 を接続してください。

手順 2 AD-1687 の画面が USB 設定画面に切り変わりますので、
「CSV FILE」を選択して **ENTER** キーを押してください。
コンピュータには USB メモリ同様、リムーバブルディスクとして認識されます。

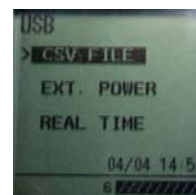


Fig.1

5. グラフ化の手順

手順 1 WinCT-AD1687 の起動

Excel 2000～2003 を使用する場合は、

WinCT-AD1687(JP)_2000_2003_V1.00.xls を起動してください。

Excel 2007,2010 を使用する場合は、

WinCT-AD1687(JP)_2000_2003_V1.00.xls を起動してください。

手順 2-a マクロの有効化 (Excel 2000 の場合)

Fig.2 のようなウィンドウが出た場合、

「マクロを有効にする」をクリックしてください。

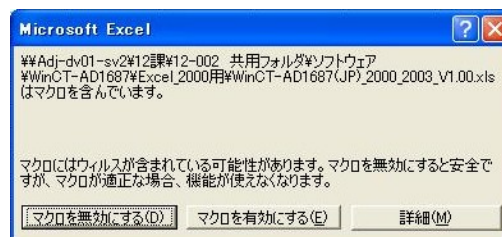


Fig.2

手順 2-b マクロの有効化 (Excel 2007 の場合)

Fig.3 のような表示が出た場合、「オプション」をクリックしてください。

Fig.4 のウィンドウが出ますので、「OK」をクリックしてください。

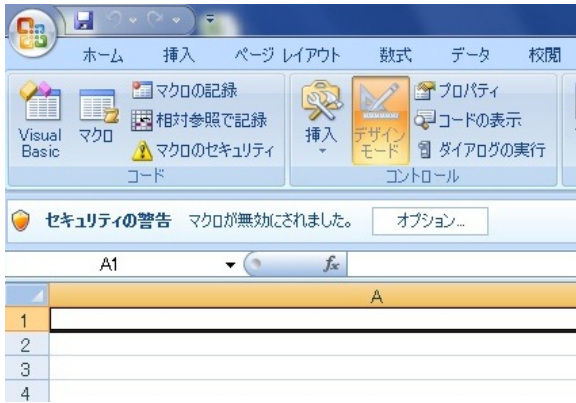


Fig.3

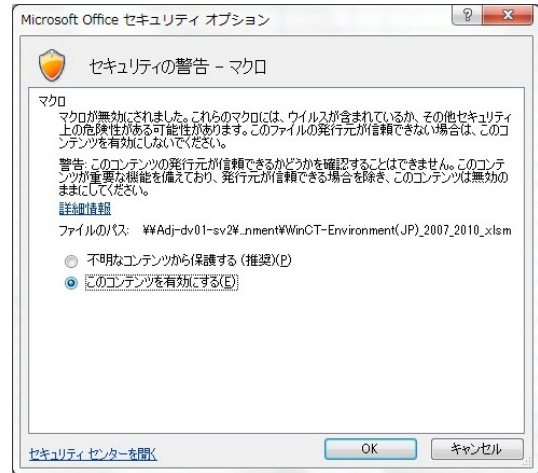


Fig.4

手順 2-c マクロの有効化 (Excel 2010 の場合)

Fig.5 のようなウィンドウが出た場合、「コンテンツの有効化」をクリックしてください。

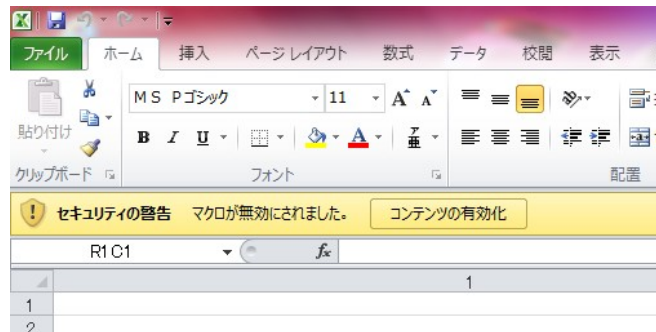


Fig.5

手順3 メインメニュー表示

Fig.3のようなメインメニューが表示されます。

※メインメニューが表示されない場合、「8. メインメニューの表示方法」を実行してください。

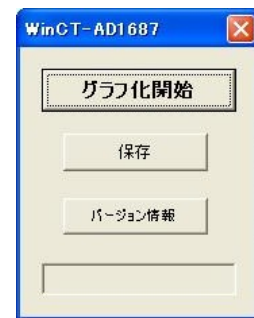


Fig.6

手順4 グラフ化

メインメニューの「グラフ化開始」をクリックしてください。

手順5 グラフ化する csv ファイルを選択
グラフ化する csv ファイルを選択して「開く」をクリックしてください。リムーバブルディスク (AD-1687) から直接選択することが可能です。また、予め AD-1687 の csv ファイルを任意の記憶装置に保存したものを選択することも可能です。

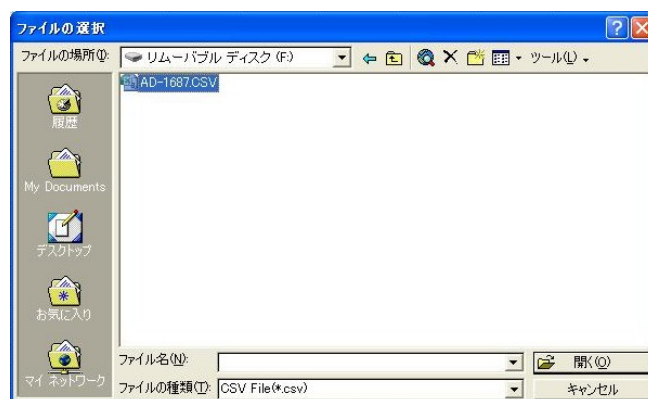


Fig.7

手順6 ワークシート初期化

Fig.5のようなウィンドウは出ますので「OK」をクリックしてください。

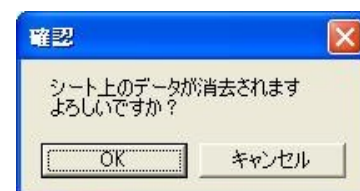


Fig.8

手順7 グラフ化完了

グラフ化には 30 秒～数分かかります。グラフ化処理はコンピュータの性能や、データ量によって変わります。グラフ化が終了すると Fig.6 のようなウィンドウが出ますので、「OK」をクリックしてください。



Fig.9

6. グラフ

6.1 作成されるグラフの説明

グラフ 1

- ・温度 (赤色、左軸)
- ・湿度 (緑色、左軸)
- ・気圧 (青色、右軸)

- ・横軸は日付・時刻です
- ・左上にそれぞれの最大・最小を表示します。

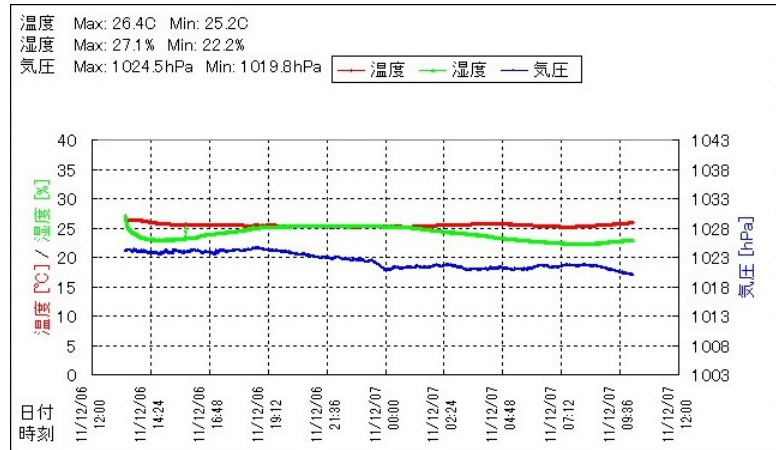


Fig.10

グラフ 2

- ・温度 (赤色、左軸)
- ・湿度 (緑色、左軸)
- ・振動 (灰色、右軸)

- ・横軸は日付・時刻です
- ・左上にそれぞれの最大・最小を表示します。

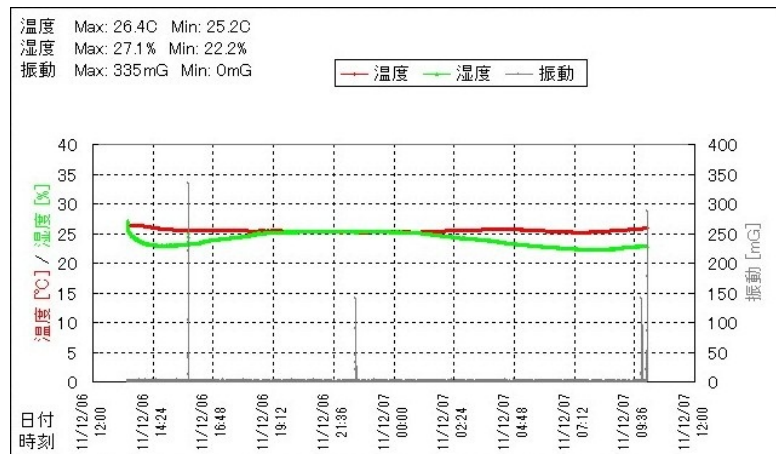


Fig.11

グラフ 3 ※計量値のデータがあるときのみ表示します。

- ・温度 (赤色、左軸)
- ・湿度 (緑色、左軸)
- ・計量値 (黒色、右軸)

- ・横軸は日付・時刻です
- ・左上にそれぞれの最大・最小を表示します。

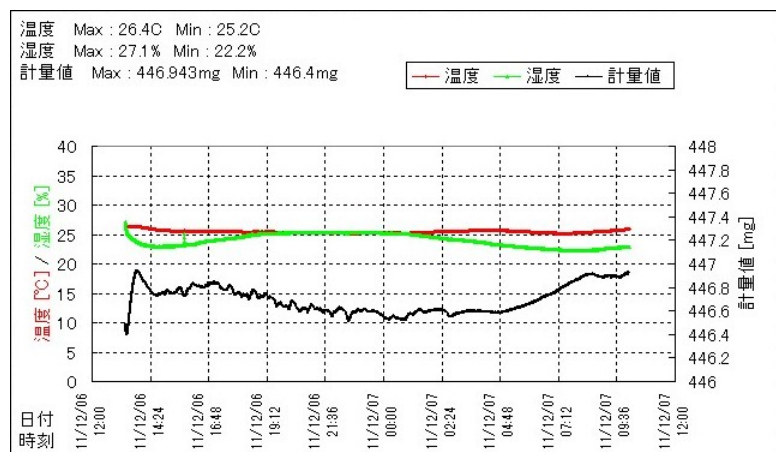


Fig.12

6.2 グラフの軸の調整方法

手順1 変更する軸の数値をダブルクリックしてください。

「軸の書式設定」ウィンドウが出ます。

手順2 「目盛」タグをクリックしてください。

最小値、最大値、目盛間隔に任意の値を入力して「OK」をクリックしてください。

時間軸（横軸）を変更する場合は、Fig.10のように“年/月/日_時間:分”を入力してください。

※_はスペースです。

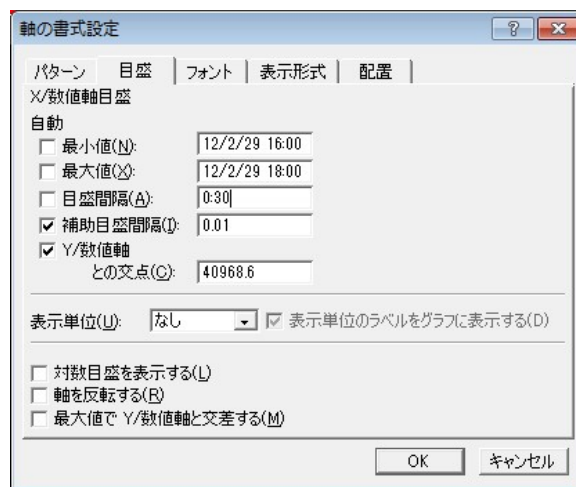


Fig.13

7. 保存

手順1 メインメニューの「保存」をクリックしてください。

※メインメニューが表示されていない場合は、「8. メインメニューの表示方法」を実行してください。

手順2 保存先の決定

保存を指定して、ファイル名を入力して「保存」をクリックしてください。

※保存したデータにはマクロ・プログラムは含まれません。

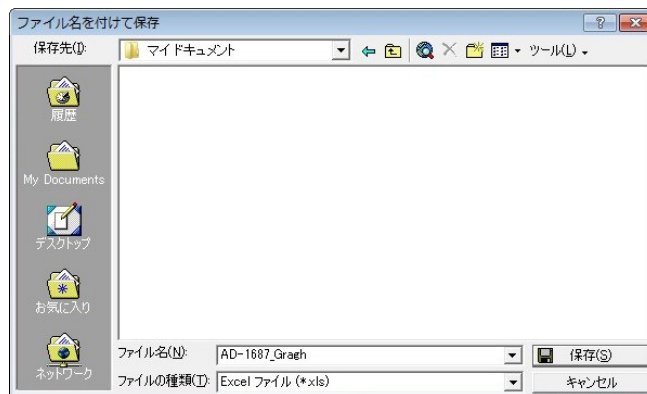


Fig.14

8.a メインメニューの表示方法 (Excel 2000 の場合)

手順1 マクロを表示

EXCEL のメニューで[ツール] → [マクロ] → [マクロ]の順でクリックしてください。

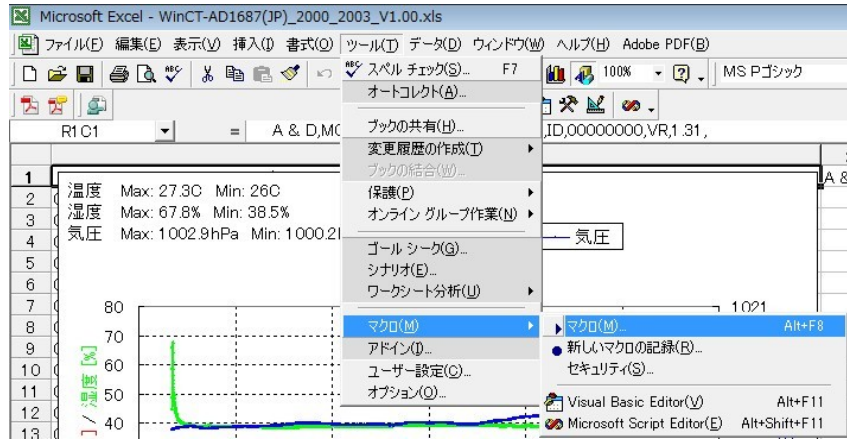


Fig.15

手順2 マクロの実行

「Analysis」を選択して「実行」をクリックしてください。

メインメニューが表示されます。

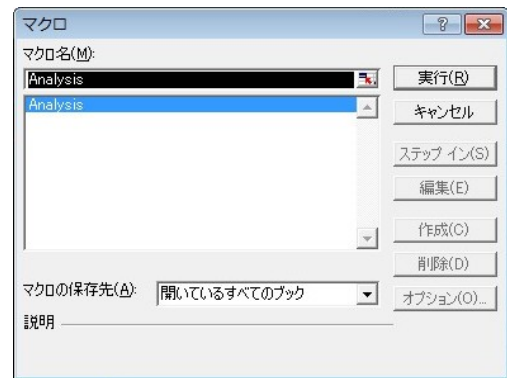


Fig.16

8.b メインメニューの表示方法 (Excel 2007 の場合)

手順1 マクロのショートカットキーを表示

Excel のメニューにマクロが表示されていない場合、左上の Office マーク上で右クリックし、「クイックアクセスツールバーのカスタマイズ」をクリックしてください。

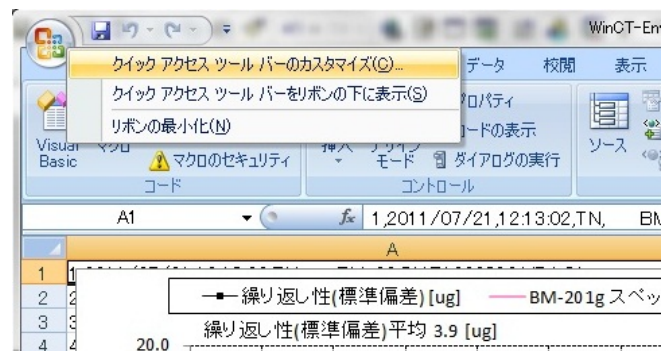


Fig.17

手順2 「基本設定」を選択し、
「[開発]タブをリボンに表示する」
にチェックを入れて「OK」を
クリックしてください。

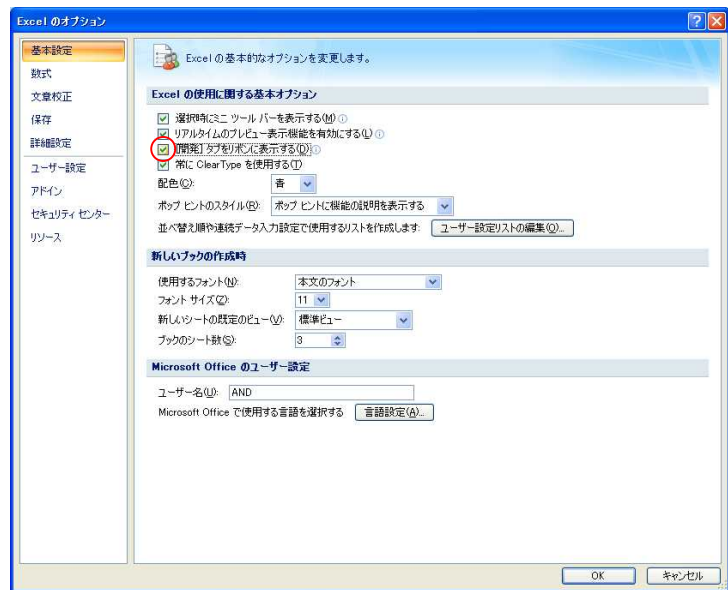


Fig.18

手順3 Excelのメニュータブの[開発] → [マクロ]の順にクリックしてください。

手順4 マクロの実行
「Analysis」を選択して「実行」をクリック
してください。
メインメニューが表示されます。

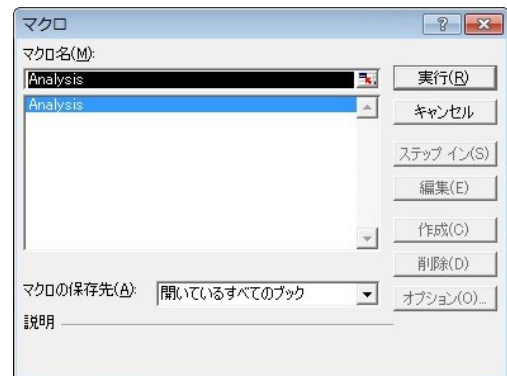


Fig.19

8.c メインメニューの表示方法 (Excel 2010 の場合)

手順1 マクロのショートカットキーを表示

Excelのメニューにマクロが表示されていない場合、メニュータブ上で右クリックし、
「クイックアクセスツールバーのカスタマイズ」をクリックしてください。

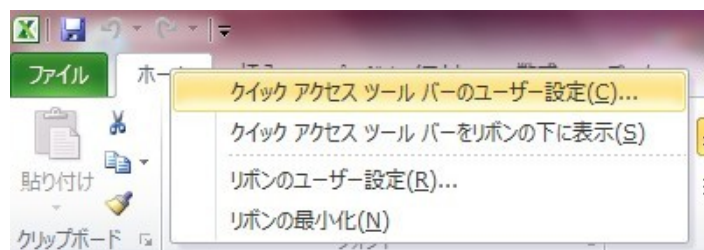


Fig.20

手順2 「リボンのユーザー設定」を選択し、右側のメインタブ内にある[開発]にチェックして「OK」をクリックしてください。

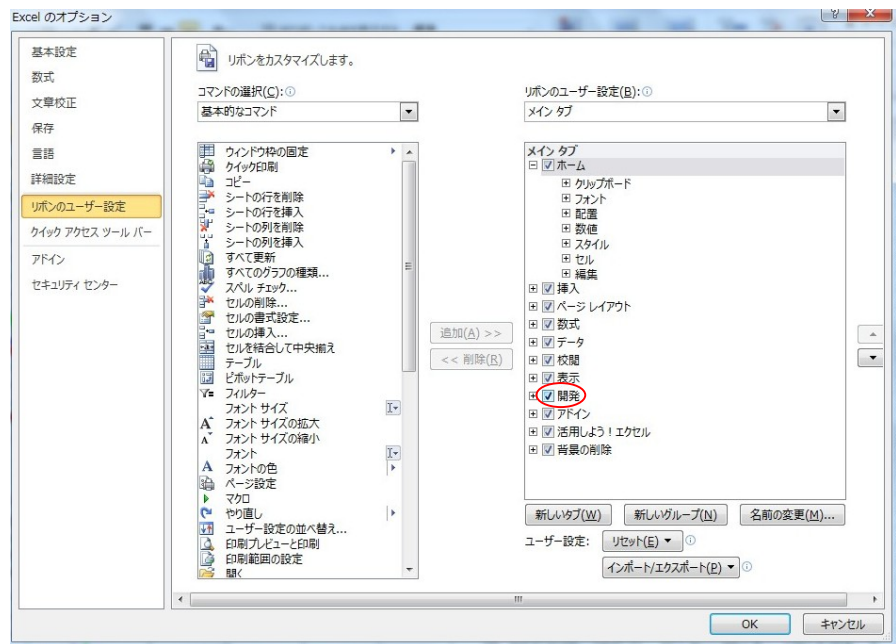


Fig.20

手順3 Excelのメニュータブの[開発] → [マクロ]の順にクリックしてください。

手順4 マクロの実行

「Analysis」を選択して「実行」をクリックしてください。

メインメニューが表示されます。

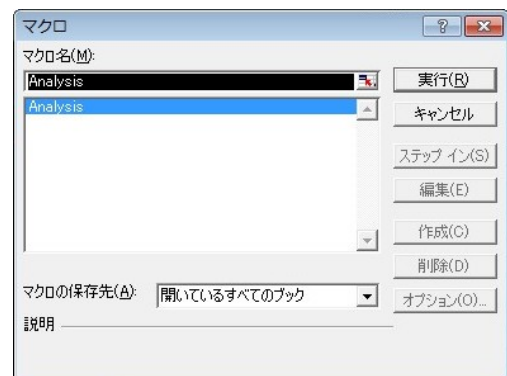


Fig.21